

2019年度 事業報告書

2019年(平成31年)4月1日から2020年(令和2年)3月31日まで

公益財団法人 SOMPO美術財団

I 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館関係事項

当年度は、1976年5月8日に安田火災海上本社ビル(現 損保ジャパン本社ビル)42階に美術館を開設して以来43年を超える事業活動の最終年度であり、8月には開館以来の累計観覧者数が600万人となった。2020年4月1日には館名を「SOMPO美術館」に変更し、隣接する新美術館棟へ移転、オープンする。新美術館棟は2020年1月に損保ジャパンにより竣工された地下1階、地上6階建てのやわらかな曲線の建物であり、新宿のアートランドマークとして、多様な芸術・文化を発信していく。

1. 美術作品の収集、保存、公開

<1> シャルル＝フランソワ・ドービニー展 バルビゾン派から印象派への架け橋

会期: 4月20日(土)～6月30日(日)

共催: 読売新聞東京本社

協賛: 損保ジャパン日本興亜

後援: 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本 協力: エールフランス航空

監修: ランス美術館 企画協力: ブレイントラスト

本展は、19世紀フランスを代表する風景画家、シャルル＝フランソワ・ドービニーの国内初の本格的な展覧会。初期から晩年まで、ドービニーによる作品89点、ならびにコロー、クールベ、ドーミエ、デュプレ兄弟、息子のカールといったドービニー周辺の画家たちによる作品20点を展示した。

6月25日(火)～30日(日)は開館時間を延長し、19時閉館としている。

【関連行事等】

- ① 開会式・内覧会 (4月19日)
展望回廊において開会式を行い、当館館長と駐日フランス大使が挨拶し、内覧会を開催した。
- ② プレス向け内覧会 (4月19日)
一般向け内覧会に先立ち、プレス向け内覧会を開催し、学芸員が展示室において作品解説を行った。
- ③ 1階美術館ロビーでは、ドービニーの生涯を紹介するアニメーション映像(7分間)を流した。
- ④ 展望回廊には《ヴァルモンドワの森の中》の画像を拡大し背景にしたフォトスポットを設置した。
- ⑤ 学芸員によるギャラリートーク (4月27日、5月8日)
担当学芸員が開館日の展示室において、一般観覧者を対象にしたギャラリートークを実施した。
- ⑥ ギャラリー★で★トーク・アート(予約制、要参加費) (6月10日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者: 64名

【主な掲載誌等】

- ① TOKYOMXテレビ「アート・ステージ～画家たちの美の饗宴」で紹介された。
(4月20日放送)

- ② 共催の読売新聞、読売新聞が運営する美術展紹介サイト「美術展ナビ」のほか、雑誌、ケーブルテレビ、インターネットの情報サイト等でも幅広く取り上げられた。

<2> みんなのレオ・レオーニ展 Reading Leo Lionni, again

会期: 7月13日(土)~9月29日(日)

共催: 朝日新聞社 協賛: 損保ジャパン日本興亜

企画協力: Blueandyellow, LLC、コスモマーチャンダイズィング、渋谷出版企画

協力: 好学社、あすなろ書房、至光社

レオ・レオーニ(1910~1999)は、子供の本に初めて抽象表現を用いた『あおくときいろちゃん』や、小学校の教科書に長年掲載されている『スイミー』、『フレデリック』等の絵本を手掛けていることで、日本では広く絵本作家として知られている。しかし、イタリアを拠点に絵本作りに踏み出すのは、グラフィック・デザイナーをリタイアした50代以降であり、油絵や彫刻、アニメーションにも取り組むなど、創作活動は多岐に渡る。本展はそうしたレオーニの多彩な作品を日本で紹介する約20年ぶりの回顧展であり、『スイミー』の原画5点をはじめとした絵本原画、デザイン、油絵、彫刻など約200点の展示のほか、映像や造作物でレオーニの世界を体感したり、絵本が読めるコーナーを設置した。

9月9日には秋篠宮眞子内親王殿下にお成りいただきご案内した。

累計観覧者が10万人を超え、月刊誌「美術の窓」による2019年展覧会の入場者数ランキングにおいて47位にランクインした。

【関連イベント】

- ① プレス向け内覧会 (7月12日)
担当学芸員がギャラリートークを行った。
- ② トークフリーウィーク (7月16日~21日、8月27日~30日)
期間中、会話を楽しみながら鑑賞する小さなお子さま連れの家族で賑わった。
- ③ 学芸員によるギャラリートーク(自由参加) (7月26日、27日)
- ④ 開館以来の累計観覧者数600万人達成 (7月31日)
- ⑤ 夏休み特別企画 ふぁみりー★で★とーく・あーと(予約制)
(8月5日午前、19日午前、午後)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。(参加者:210名(うち中学生以下101名))
- ⑥ 講演会(予約制) (8月24日)
2階会議室において、本展の監修者で板橋区立美術館副館長である松岡希代子氏を講師に迎え、「レオ・レオーニ 希望の絵本をつくる人」と題する講演会を開催した。(参加者168名)
- ⑦ 42階展望回廊の体験コーナー
 - ・レオーニの絵本をもとにしたアニメーション映画(5作品 約28分)を放映した。
 - ・レオーニの絵本『フレデリック』をモチーフにしたフォトスポットを設置した。
 - ・レオーニの絵本が読めるコーナーを設置した。
 - ・レオーニの絵本『あいうえおのき』をモチーフにしたパネルを設置し、来館者が葉っぱ型シールに自分の好きなレオーニの絵本とコメントを書いて貼れるようにした。
- ⑧ 会期中、1階ロビーには特設ショップを設置し、レオーニグッズを販売した。

【主な掲載誌等】

- ① テレビ朝日有料動画「Musee du ももクロ」で、当館学芸員が展覧会を紹介した。
(8月8日公開)
- ② 朝日新聞等で開館以降の累計観覧者600万人達成が紹介された。(8月9日付)
- ③ 共催の朝日新聞をはじめ、産経新聞、東京新聞、美術雑誌、インターネット、ラジオ等で幅広く取り上げられた。

<3> 美術館移転準備のため休館 9月30日(月)～2月14日(金)
休館中も2回に分けて収蔵作品を展示し、新宿区小中学校による鑑賞会を実施した。

<4> 「FACE展2020 損保ジャパン日本興亜美術賞展」
会期:2月15日(土)～3月1日(日) ※当初は3月15日(日)
共催:読売新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

本展は42階展示室で開催する最後の展覧会であったが、新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止のため、会期を2週間繰り上げて3月1日(日)に終了した。

本展は、財団設立時からの作家支援活動の理念を継承した公募コンクール形式の第8回目であり、875点の応募作品から四次の「入選審査」を経て71点の入選作品(うち受賞作9点)を決定し展示した。

アートフェア東京と連携し、チケット(半券可)提示による観覧料割引を実施した。

本展では、一般観覧者に作品の撮影を許可(フラッシュ不可)した。

【関連イベント】

- ① 表彰式及び内覧会 (2月14日)
表彰式に先立ち、展示室において受賞作家を対象にした審査員による審査講評を実施した。43階で受賞作家9名の表彰式を行い、その後の内覧会では、入選作家と審査員・美術評論家等の交流の場を提供した。
- ② 「さよなら42階お客様感謝企画」
 - ・会期中、大学生の観覧料を無料にした。
 - ・2月29日(土)、3月1日(日)は観覧者全員を無料にした。(観覧者合計:1,351人)
 - ・展望回廊に過去のFACE展ポスターや表彰式記念写真、過去の美術館写真等を掲示した。
- ③ 「ポスターで振り返る過去の展覧会」コーナー
会期中、1階ロビーに過去に当館で開催された主な展覧会ポスターを掲示した。

【主な掲載誌等】

- ① 2月13日付読売新聞夕刊に展覧会の概要及び受賞作品の広告を掲出した。
- ② インターネット上のコンペ情報サイト「登竜門」とWEB版「美術手帖」に優秀賞4名のインタビュー記事広告が掲載された。

<5> 併設展示

(1) 常設展示コーナー

ゴッホ《ひまわり》、ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》、セザンヌ《りんごとナブキン》は、常時展示した。

【関連イベント】

ロンドン・ナショナル・ギャラリーが収蔵するゴッホ《ひまわり》の来日を記念して、展覧会を開催する国立西洋美術館とゴッホの7つの《ひまわり》の陶板を展示する大塚国際美術館とコラボして、2月27日からひまわりフォトスポットを美術館ロビーに設置した。

【主な掲載誌等】

- ① BS日テレとBS日テレ4Kチャンネルの同時放送により、「日本に恋したゴッホ～北川景子が歩く天才画家の旅路～」において、当館の《ひまわり》が紹介された。
(10月12日)
- ② テレビ東京「新美の巨人たち」においてゴッホの《糸杉》が取り上げられ、当館の《ひまわり》が紹介された。
(11月9日)

(2) 収蔵作品展示コーナー

展覧会に併設し、東郷青児、グランマ・モーゼス作品を中心に館蔵品を展示した。「FACE展2020」では昨年のグランプリ作品、庄司朝美《18.10.23》を展示した。

<6> 展覧会及び館蔵品解説

(1) 図録・解説書の刊行

- ① 「ドービニー展」図録及びジュニア版ブックレット
- ② 「みんなのレオ・レオーニ展」図録
- ③ 「FACE展2020」図録

(2) 一般観覧者対象のギャラリートーク、アーティストトーク

「ドービニー展」「みんなのレオ・レオーニ展」において、学芸員が一般観覧者を対象に開館日の展示室でギャラリー・トークを行った。

(3) 音声ガイド

「FACE展2020」において、赤外線システムを試験導入し、ゴッホ《ひまわり》に関する音声ガイドを無料で貸し出した。

(4) 諸団体への対応

和歌山県すさみ町立周参見中学校 3年生7名、先生1名に対し美術館の概要説明を行った。
(5月22日)

<7> 展覧会別観覧者数

会期	展覧会名	開館日数	有料計	無料計	合計	1日平均
4/20～ 6/30	シャルル＝フランソワ・ドービニー展	64	23,345	21,432	44,777	699
7/13～ 9/29	みんなのレオ・レオーニ展	73	60,713	41,983	102,696	1,407
9/30～ 2/14	長期休館 (新宿区鑑賞会)			966	966	
2/15～ 3/1	FACE展2020	15	1,026	3,176	4,202	280
合計		152	85,084	67,557	152,641	1,004
<参考>昨年度合計		261	93,375	78,448	171,823	658

<8> 館蔵品・資料・文献の収集・整備

- (1) 美術品等の受託 (1月15日)
- ① 東郷青児《パラソルさせる女》 油彩・キャンバス
 - ② 東郷青児《南仏風景》 油彩・キャンバス
 - ③ 東郷青児《髪》 油彩・キャンバス
- (2) 美術資料の受贈 (1月16日)
- 山口華楊《猿(下絵)》 墨・顔料・紙
- (3) 館蔵品の修復・保全
- ④ ゴッホ《ひまわり》は定期メンテナンスを行った。 (4月)
 - ⑤ ルノワール《浴女》のクリーニングを実施した。 (4月)
 - ⑥ 東郷青児《タッシリ》《ラムセスの寵妃》《砂漠の花》の額修理 (4月～6月)
 - ⑦ 館蔵品2点のデジタル画像取得のための撮影を行った。 (1月)
 - ⑧ 館蔵品の作品点検を実施するに伴い、立体作品に保管用の箱を作成し、展示ケースと台座を分別処分した。 (1月)
 - ⑨ 東郷青児《干拓地》《パラソルさせる女》《バレリーナ》《白い花》額修理 (2月～3月)

(4) 館蔵品の貸与

作品名	貸与先等
ルノワール《浴女》	「Renoir: The Body, The Senses」展 クラーク美術研究所(6/8～9/22) キンベル美術館(10/27～1/26)
東郷青児《コントラバスを弾く》 《超現実派の散歩》	「共時的な星々:「風車詩社」と領域/地域横断の 芸術時代展」 台湾国立美術館(6/29～9/15)
東郷青児《コントラバスを弾く》	「山田耕筰と美術」展 栃木県立美術館(1/11～3/5)※会期繰り上げ
岸田劉生《虎ノ門風景》	「没後 90 年記念 岸田劉生展」 東京ステーションギャラリー(8/31～10/20) 山口県立美術館(11/21～2/23) 名古屋市美術館(1/8～3/1)
パブロ・ピカソ《抱擁》	「ピカソ展—《ゲルニカ(タピスリ)》をめぐって」 群馬県立館林美術館(10/5～12/8)

<9> 調査・研究

- (1) 著作権の管理
当館が管理する著作権に関し、21件の許諾を出した。
- (2) 執筆・講演活動等
- ① 新美術新聞(5月21日号)に「ドービニー展」について寄稿した。
 - ② 鹿児島市立美術館で開催された「シャルル＝フランソワ・ドービニー展」記念講演会「19世紀フランスの旅と風景画」において、講師を務めた。
 - ③ 「美術の窓」1月美術展特集号(1月20日発売)に寄稿し、開館記念展Ⅰ・Ⅱ及び「ゴッホと静物画」展について紹介した。

④ 当館の活動を報告する「美術館REPORT2019」を発行した。

2. 展覧施設の運営管理

<1> 施設・設備等の整備、防災訓練等の実施

- (1) 美術館フロアの虫害防除作業及び定期清掃(絨毯洗浄、ワックスがけ)を実施した。
(4月2日、6日)
- (2) 収蔵庫移転に伴う作品の修復作業に備え、42階展示室の虫害防除作業及びカーペット洗浄を実施した。
(3月18日、20日)
- (3) 美術館移転に伴い、42階のミュージアムショップ什器・備品を処分した。
(3月末)
- (4) ビル管理会社(SOMPOビルマネジメント(株))により、消火設備、ハロンガス設備、自動扉、空調設備、ITV設備等の点検及び動作確認が定期的に実施された。

<2> ミュージアムショップの運営

- (1) 2020年版カレンダー「グランマ・モーゼス」「東郷青児」を期間限定販売した。
- (2) 以下の頒布品を受託販売した。

ドービニー展	展覧会関連の頒布品や書籍
みんなのレオ・レオーニ展	展覧会関連の頒布品や書籍
FACE展2020	出品作家の作品集

- (3) 42階さよならセール
「FACE展2020」において、過去の展覧会図録やジュニア版ブックレット、新美術館では廃盤とするクリアファイル、一筆箋、絵はがき等を「42階さよならセール」として割引販売した。
- (4) 館名変更に伴い、既存グッズの改廃を行った。
(3月)

3. 美術鑑賞教育の普及支援

<1> 対話による美術鑑賞

(1) 新宿区小中学生の美術鑑賞教育支援事業

「新宿区における美術振興を図るための協働連携に関する覚書」に基づき、今年度も(公財)新宿未来創造財団と「新宿区立小学校及び新宿区立中学校の美術鑑賞教育に関する協定書」を締結し、ガイドスタッフの協力を得て、事前授業及び休館日の鑑賞会を実施した。

新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止のため、3学期に予定していた小学校3校の事前学習及び小学校5校と中学校1校の鑑賞会は中止となった。

【事業実施結果】

事前授業	小学校20校 1,066名、中学校実施なし 合計 20校 1,066名	ガイドスタッフ 延べ276名
鑑賞会	小学校24校 1,299名、中学校2校 127名 合計 26校 1,356名、先生 107名	ガイドスタッフ 延べ531名
ガイドスタッフ在籍数 74名 活動延べ人数 807名		

(2) ギャラリー★で★トーク・アート(予約制)

次のとおり、休館日にガイドスタッフや他の参加者と対話をしながら作品を楽しむ鑑賞会を開催した。「みんなのレオ・レオーニ展」では、夏休み企画として「ふぁみりー★で★とーく・あーと」と銘打ち、家族やグループでの参加を呼びかけた。

シャルル＝フランソワ・ドービニー展	6/10(月) 14時～16時	参加者64名 ガイドスタッフ:29名
みんなのレオ・レオーニ展	8/5(月) 10時～12時	参加者:82名(うち中学生以下41名) ガイドスタッフ:24名
	8/19(月) 9時半～11時半	参加者:56名(うち中学生以下26名) ガイドスタッフ:25名
	8/19(月) 14時～16時	参加者:72名(うち中学生以下34名) ガイドスタッフ:25名

<2> その他

(1) 新美術新聞(4月21日号)において、10周年記念誌「子どもたちとの架け橋」が紹介された。

(2) 新宿区立市谷小学校校内研究会の講師を務め、当館の事業を説明した。

(10月23日)

4. 助成関係事項

<1> 「FACE 2020」損保ジャパン日本興亜美術賞」の選考 (11月17日)

業務委託先(ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株))の倉庫にて審査会を実施し、875点の応募作品から四次の「入選審査」を経て、71点の入選作品を決定した。

「賞審査」では、グランプリ作品が初めて該当なしとなり、従来は3点選出している優秀賞を4点とした。

選考結果については、11月22日に応募者全員に郵送するとともに当館及び業務委託先のホームページで公表した。

審査員は、堀元彰氏(東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター)、山村仁志(東京都美術館学芸担当課長)、野口玲一氏(三菱一号館美術館学芸員)、椿玲子氏(森美術館キュレーター)、当館館長の5名である。

入選・受賞作品は、「FACE展2020 損保ジャパン日本興亜美術賞展」で展示した。

賞名	副賞金	作家名	作品
グランプリ	300万円	該当なし	
優秀賞	各50万円	おおつき かずひろ 大槻 和浩	《明日を見つめて》 アクリル・キャンバス
		さいとう しおり 齋藤 詩織	《女狩人のごちそう》 油彩・キャンバス
		まつうら きよはる 松浦 清晴	《身体記》 アクリル・キャンバス
		こまた か な 小俣 花名	《朝ご飯》 墨・胡粉・水彩色鉛筆・和紙

賞名	副賞金	作家名	作品
読売新聞社賞	10万円	きまた そうし 木俣 創志	《木漏れ日・慟哭(05-19)》 アクリル・キャンバス
堀 元彰 審査員特別賞	各10万円	きむら ふじお 木村 不二雄	《崖屋美術館》 ろうけつ染(墨)・綿布
山村仁志 審査員特別賞	各10万円	たかぎ よう 高木 陽	《世界は均衡を望む》 デジタルプリント・アクリル・ 油彩・メディウム・紙・ベニヤ・ キャンバス
野口玲一 審査員特別賞		たからだ しょうご 財田 翔悟	《とるにたらない》 pigment・岩絵具・ 硫酸カルシウム・箔・綿布
椿 玲子 審査員特別賞		ひがき はるほ 檜垣 春帆	《ライツ・ライト》 油彩・ペンキ・キャンバス
オーディエンス賞	なし 審査委員 特別賞受 賞のため	きむら ふじお 木村 不二雄	《崖屋美術館》 ろうけつ染(墨)・綿布
	3万円	ささやま かつお 笹山 勝雄	《岩稜》 油彩・キャンバス
		やまだ あやか 山田 彩加	《遺伝子の行方-眼差し》 リトグラフ・ダーマトグラフ・ アクリル

<2> 「FACE2020 損保ジャパン日本興亜美術賞」表彰式 (2月14日)
43階ロビーにおいて表彰式を開催し、当財団理事長、読売新聞東京本社事業局文化事業部長、審査員が受賞者に表彰盾を授与した。当館館長が主催者挨拶を、審査員長が選考経過を報告し、優秀賞受賞の大槻和浩氏が受賞者を代表して謝辞を述べた。

<3> 新進美術家の育成援助
新進美術家の支援・育成を目的とする「損保ジャパン日本興亜美術財団賞」を38団体の公募美術展平面部門での受賞者に授与した。
なお、2020年4月から賞名を「SOMPO美術館賞」に変更し、将来性ある美術家の表彰を目的とすることに伴い、既存の38の公募美術団体への財団賞の授与を終了した。

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
1	第78回 創元展	H31.4.3	馬場 豊	壁の中の記憶
2	第72回 示現会展	H31.4.3	小島 兼一	冬の市庁舎前
3	第69回 モダンアート展	H31.4.3	松本 八千代	あえか I
4	第78回 水彩連盟展	H31.4.4	三村 克彦	有機体へ 25
5	第67回 光陽展	H31.4.7	松浦 悦子	Mの断片
6	第79回 美術文化展	H31.4.10	長船 侍夢	刻の路
7	第105回記念 光風会展	H31.4.17	青柳 泰生	薫風

番号	展覧会名	授与 年月日	受賞者	受賞作品名
8	第96回 春陽展	H31.4.20	今尾 啓吾	Rahu
9	85回記念 東光展	H31.4.26	川上 浩平	立秋
10	第93回 国展	R1.5.1	宮地 佳代	景
11	第64回 新世紀展	R1.5.12	平田 睦夫	私のいる風景 I
12	第115回記念 太平洋展	R1.5.15	田中 隆夫	雪降る寒い朝
13	第71回 三軌展	R1.5.18	山形 一遊	魚群
14	第85回記念 旺玄展	R1.5.22	濱田 充代	磨かれて、旅に出る
15	第72回 創造展	R1.5.24	稲森 伸治	Flora
18	第33回 日洋展	R1.5.29	遠藤 仁美	美しき人
16	第62回 新象展	R1.5.29	上原 秀樹	milestone2019～見上げたときそこに見える世界に希望は残されている～
17	第73回 女流画家協会展	R1.5.29	岡田 豊子	時から代へ～'19
19	第75回記念 現展	R1.6.1	倉本 久嗣	経過
20	第90回 第一美術展	R1.6.1	内田 田鶴子	私の叢
21	第107回 日本水彩展	R1.6.9	伏原 叔子	はつなつのコンチェルト
22	第98回 朱葉会展	R1.6.24	藤原 順子	天上の花 (Mother's messages)
23	第91回 新構造展	R1.6.26	青木 和江	連
24	第55回記念 国際公募 亜細亜現代美術展	R1.7.3	小林 茂章	赤い糸「菜」…2
25	第56回 近代美術協会展	R1.8.31	坂井 千鶴子	継
26	第55回記念 主体展	R1.9.1	福田 玲子	good-bye
27	第104回 二科展	R1.9.4	山田 圭子	ZEN REI 2019-IV
28	第83回 新制作展	R1.9.18	柴田 貴史	ユートピア(猫)
30	第74回 行動展	R1.9.18	奥田 麻里子	君へ
29	第62回 新協展	R1.9.19	中村 英亮	復興の道半ば
31	第81回 一水会展	R1.9.23	塚越 潤	創造の時
32	第65回記念 一陽展	R1.10.2	尾島 守	ゾウとネコたちの神戸コレクション 2019
33	第87回 独立展	R1.10.16	市川 光鶴	隠れた月もただ泣いて
34	第73回 二紀展	R1.10.19	三村 紗瑛子	いつも何処かに
35	第70回記念 一線美術会展	R1.10.19	西村 司	トノサマバッタのいるところ
36	第50回 元陽展	R1.11.3	町田 美佐	Eight Stories (8つの物語)
37	第71回 中美展	R1.11.10	兼松 美恵子	まる さんかく しかく
38	第96回 白日会展	R2.3	吉成 浩昭	正午

5. 公共への協力

<1> 文化行政への協力

(1) 当年度は、全ての展覧会において、小中学生に加え、高校生の観覧料を無料とした。

- (2) FACE展2020においては、42階で開催する最後の展覧会であるため、大学生の観覧料も無料とした。
- (3) 東京都心の東京革命推進協議会主催「都民ふれあいの日」に協力し、年間を通して18歳未満の子供を連れた都民に対する優待割引を実施した。
- (4) 新宿区が主催する「来て・見て・楽しい フィールドミュージアム2019」(7/1～11/30)に協力し、イベント冊子の提示による「みんなのレオ・レオーニ展」の観覧料割引を実施した。

<2> その他

学芸員資格取得のための博物館実習を次のとおり実施した。

実習期間： 8月20日～29日(8日間)

参加大学生：12校12名

実践女子大学、武蔵野美術大学、埼玉大学、明治学院大学、昭和女子大学、東京女子大学、東京学芸大学、日本女子大学、成城大学、女子美術大学、青山学院大学、学習院大学

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

2019年度末現在

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
理事長 代表理事 (非常勤)	二宮 雅也	H30.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役会長	H28.1.21 (理事長就任) H27.12.17 (理事就任)
専務理事 業務執行理事 (常勤)	中島 隆太	H30.6.29	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館館長	H27.6.26
理事 (非常勤)	寺坂 公雄	H30.6.29	画家、日本芸術院会員、 (公社)日展顧問、(一社)光風会理事長	S62.3.25
理事 (非常勤)	千足 伸行	H30.6.29	広島県立美術館館長、成城大学名誉教授	H10.6.24
理事 (非常勤)	樺山 紘一	H30.6.29	印刷博物館館長、東京大学名誉教授	H20.6.24
理事 (非常勤)	今野 秀洋	H30.6.29	(一財)貿易・産業協力振興財団理事長	H28.6.29
理事 (非常勤)	山脇 晴子	H30.6.29	日経BP社監査役	H30.6.29
監事 (非常勤)	新里 智弘	H28.6.29	公認会計士	H19.6.19
監事 (非常勤)	内田 満雄	H28.6.29	公認会計士	H28.6.29

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
評議員 (非常勤)	真室 佳武	H30.6.29	東京都美術館館長	H17.6.14
評議員 (非常勤)	國分 正明	H30.6.29	元文部事務次官 前(一社)教職員生涯福祉財団会長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	高階 秀爾	H30.6.29	(公財)大原美術館館長、 (公財)西洋美術振興財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	遠山 敦子	H30.6.29	(公財)トヨタ財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	宝木 範義	H30.6.29	美術評論家	H20.6.24
評議員 (非常勤)	森田 富治郎	H30.6.29	第一生命保険(株)特別顧問	H20.6.24
評議員 (非常勤)	小佐野 重利	H30.6.29	東京大学名誉教授、東京大学相談支援研究開発センター特任教授、東京大学 フューチャーセンター推進機構特任研究員	H21.3.31
評議員 (非常勤)	馬越 陽子	H30.6.29	画家、日本芸術院会員、独立美術協会会員、 女流画家協会委員、多摩美術大学大学院客員教授	H24.6.29
評議員 (非常勤)	松広 清	H30.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 執行役員待遇総務部長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	加藤 種男	H30.6.29	(公社)日展副理事長	H28.6.29
評議員 (非常勤)	越川 倫明	H30.6.29	東京藝術大学教授	H28.6.29
評議員 (非常勤)	大熊 雅美	H30.6.29	DIC(株)DIC 川村記念美術館館長	H29.6.29
評議員 (非常勤)	飯豊 聡	H30.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役専務執行役員	H29.6.29
評議員 (非常勤)	新甚 博史	R1.6.28	損害保険ジャパン日本興亜(株)広報部長	R1.6.28
評議員 (非常勤)	越川 志穂	R1.6.28	損害保険ジャパン日本興亜(株)CSR室長	R1.6.28

2. 職員に関する事項

2019年度末現在

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務局長	鴛海 晋	H29.4.1	事務局事務統括	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
部長	村田 明弘	H30.4.1	事務局長補佐	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
学芸課長	五十嵐 卓	H11.4.1	資料の収集・保管・展示、調査研究、その他専門的業務	
主任学芸員	小林 晶子	H9.9.1	〃	
主任学芸員	中島 啓子	H9.10.1	〃	
主任学芸員	江川 均	H10.4.1	〃	
学芸員	武笠 由以子	H29.10.1	〃	
学芸員	岡坂 桜子	H31.1.1	〃	
事務主任	出口 知子	H11.10.1	財団総務・美術館運営事務他	
事務職員	本條 志穂	H15.10.1	美術館運営事務、広報事務他	
事務職員	池田 美紀	H24.4.1	財団総務・美術館運営事務他	
事務職員	杉本 典子	H24.4.1	美術館広報事務他	
事務職員	吉井 有紀	H25.4.1	鑑賞教育事務、広報事務他	

3. 役員会等に関する事項

<1> 理事会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
令和元年6月7日	定款第38条に基づく理事会決議の省略により開催 ■決議事項 定時評議員会の招集 平成30年度事業報告及び決算報告の承認 財団の名称変更及び諸規程等の改定 ■報告事項 理事の利益相反取引の報告 (平成30年4月～平成31年3月)	原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決
令和元年6月28日	■決議事項 収益目的事業の実施 ■報告事項 活動状況報告 (平成31年3月1日～令和元年6月16日) 理事長・専務理事の職務執行状況 (平成31年3月1日～令和元年6月16日)	原案どおり可決

開会年月日	議事事項等	会議の結果
令和2年3月24日	<p>■決議事項 2020年度事業計画及び収支予算書等の承認 館則の改定 2021年度展覧会の開催 特定費用準備資金の積立</p> <p>■報告事項 活動状況報告 (2019年6月17日～2020年3月15日) 理事長・専務理事の職務執行状況の報告 (2019年6月17日～2020年3月15日)</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>

<2> 評議員会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
令和元年6月28日	<p>■決議事項 平成30年度決算報告の承認 評議員の選任 財団の名称及び定款等の変更</p> <p>■報告事項 平成30年度事業報告 2019年度事業計画及び収支予算等 2020年度事業の概要</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり選任 原案どおり可決</p>

4. 許可、認可、届出、承認及びその他の重要事項

申請等年月日	申請等事項
令和元年6月12日	東京都及び文部科学省へ「青少年を対象とした取組等に関する実績報告(平成30年度)」を提出
令和元年6月28日	内閣府へ平成30年度事業報告等を提出
令和元年7月5日	評議員及び理事の変更を登記
令和元年7月20日	内閣府へ評議員及び理事の変更を届出
令和元年8月3日	内閣府へ収益目的事業実施の変更認定申請書を提出
令和元年10月18日	内閣府より収益目的事業実施の認定を受ける
令和2年3月29日	内閣府へ2020年度事業計画書等を提出
令和2年3月30日	法人事務所を損保ジャパン本社ビル41階から地下1階、地下2階へ移転
令和2年4月1日	法人の名称を「公益財団法人SOMPO美術財団」に変更 美術館の名称を「SOMPO美術館」に変更

5. 寄付金等に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額
公益目的事業に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	59,700,000 円
ゴッホ展作品借用に関わる費用に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	70,300,000 円
法人の管理運営に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	21,300,000 円
公益目的事業に充当	法人・団体 36件	6,368,196 円
公益目的事業に充当	個人 55件	2,520,000 円

6. 行政庁指示に関する事項
該当なし

7. その他

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、特記事項がないため作成していない。

以上